

課題解決に向け、各人が資料を活用し、

## 考察・表現する高校日本史探究

—知識構成型ジグソー法を取り入れた授業実践—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（社会）

高野 昌也

学習指導要領の改訂により、来年度から「日本史探究」が開始される。それに伴い、探究にかかわる主体的・対話的で深い学びを目指す日本史の授業実践については、すでに多くの研究がなされている。しかし、主題を設定し、諸資料を活用して考察・表現する学習についての実践は少ない。本研究では、問いを工夫し、様々な資料を提示することで、見方・考え方を働かせ、「多面的・多角的に考察する能力」の育成を目指す。考察方法として、小中学校では積極的に取り入れられている知識構成型ジグソー法に着目し、関わり合いを通して一人ひとりが学びを深めることができているか検証する。また、積極的に言葉にしながらかえ、一人ひとり自分で答えを作り出す能力やそれらを表現する能力の育成も目指す。本稿では、約2ヶ月間の実践結果をふまえ、今後の課題を考察したい。

〈キーワード〉 探究学習 日本史 主題設定 資料活用 考察・表現

知識構成型ジグソー法